

柱	班	事業（仮名）	事業概要
柱1 地域の特性を守り活かし、活気あふれるまちづくり （農業・林業・自然環境）	1 班	鳥獣害対策事業	有害鳥獣による農作物被害が多く、農業者のモチベーション低下及び離農につながっている。すでに市の捕獲檻貸出事業はあるが、大型獣用の檻の数が不足している。この課題の解決に向けて、捕獲檻を購入し、作手地域の被害削減を図る。
柱2 共に学び、育ち、人が輝くまちづくり （共育・住民交流）	2 班	つくで交流館中庭活用整備事業	交流館の中庭の排水が悪く雨が降ると大きな水たまりができてしまい、利用しづらいスペースとなっている。ここに人工芝を敷き、雨水・排水対策として可動式の屋根等を設置することで使いやすくなり、地域交流の場としての用途が広がる。
		つくで交流館入口アーケード設置事業	交流館の駐車場は支所の駐車場と兼用であり、交流館の入り口まで距離がある。特に雨の日は行きづらいと感じるため、雨除けの屋根、アーケードを設置することで、利用者の利便性を向上させる。
柱3 助け合い支え合い、安心して暮らせるまちづくり （安心・安全 防災・防犯）	3・4 班	地域活性化備品整備事業	イベント等の地域活動を応援するため、貸出し用のテントやハソリを整備する。また、災害時には整備した備品を災害時備品としても利用できるようにする。
		防災意識向上事業 （実施訓練）	災害時、作手地域は孤立する可能性が高く、園児、児童、生徒の親が簡単に合流できない可能性がある。そこで、子どもたちも集めて避難所体験会を実施する。体験会のコーディネーターを手配したり、実際に非常食を食べる機会を創出する。地域との顔つなぎにもなる。
柱4 情報発信（関わる人や訪れる人を増やし、次世代へつなぐまちづくり）	5 班	作手歴史民俗資料館整備事業	資料館の利用者が増加するように、空調やLED 化を進め、土日の開館時間を延長させる。
		作手道の駅情報館整備事業	令和 8 年度事業で、道の駅手づくり村の情報館に看板と作手地域マップを設置する。情報館をさらに充実させるために、デジタルサイネージを設置し、作手地域の PR 動画を流す。
		亀山城・古宮城整備復元事業	それぞれの城を復元させる。また、それぞれの城址をPR する案内看板を設置する。
		文珠山整備事業	令和 8 年度事業で物見櫓の改修を実施するため、周りの樹木を伐採するなどして、景観を良くする。また、大きな看板を設置したり、太鼓イベント等を実施できるようにする。
		交流館・小学校アーケード設置事業	交流館、小学校の入り口まで、雨除けのアーケードを設置する。
		巴湖カヌー教室応援事業	カヌー教室の回数が年数回しかないため、回数を増やし、来訪者を増やす。
		巴湖周辺施設整備事業	砂利駐車場を整備し、池の真ん中の島まで散歩できるよう改修する。